

登録医ニュース

メタセコイア

第39号
2017.1

編集・発行/東北医科薬科大学病院 医療連携センター

〒983-8521 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携センター直通) Fax(0120)25-9121(医療連携センター直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

年頭のご挨拶

東北医科薬科大学病院 病院長 ^{こんどう}近藤 ^{たかし}丘



明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月に本院は東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りましたが、医学部の施設は未だ無く病院の建物も4月以前と変わらない中で、診療科や医師数が増えて診療のボリュームが拡大し、それにとまって看護師、コメディカルその他の職員数も大幅に増えるというこれまで経験したことのない困難な状況の9ヶ月間となりました。これに対して建物内を順次改修して対応をしまいましたが、本年は4月にさらに40名近い教員(医師)の赴任が予定されており、ますます狭隘の度合いが大きくなるものと推察されます。この狭隘さは平成30年春に教育研究棟の全体が完成することでかなり解消されると見込まれますが、それまでの平成29年度1年間はずっと厳しいものになると思われま。今後も引き続き改修工事を重ねてできるだけ受診者の皆様の利便性を損なわないように努めて参ります。

さて、本年はこれまで外来診療のみであった泌尿器科に教員(医師)5名が赴任して新たに入院診療や手術などをスタートいたします。また、肝胆膵外科、消化器外科(食道外科)、乳腺内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、血液・リウマチ科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、精神科、麻酔科、救急科、放射線科、リハビリ科などほとんどの診療科でスタッフが増員され、より強力な地域医療支援体制が構築されるものと考えています。

また、本学医学部新設の理念の一つである地域医療の支援については、単なる支援から一歩踏み出して「新たな地域医療の創出」というコンセプトで地域医療に関わっていくことを計画しています。本学医学部のサテライトセンターの一つである登米市民病院、東北文化学園大学そして本院の3者が協力し、宮城県の支援も受けて診療看護師(NP)の育成と在宅医療への導入による新たな地域医療の仕組みを本年4月よりスタートさせる予定です。その先には多職種連携在宅チーム医療の展開も視野に入れ、本院と医学部が質の高い在宅医療の推進に積極的に取り組み地域医療の向上に貢献してまいります。

院内の体制強化にともなって、より広いスペクトラムで地域医療に貢献できるように本院は進化して参りますので、地域の皆様、登録医の皆様にはより一層のご支援をいただきたく、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

糖尿病代謝内科紹介

糖尿病代謝内科科長 あかい ひろあき 赤井 裕輝



糖尿病代謝内科には、東北大学第三内科後藤由夫名誉教授が前身の東北厚生年金病院院長として着任以来の伝統がございますが、ここ数年は平井敏、善積信介の医師2名の体制でした。このたび新たに東北労災病院より赤井裕輝、丹治泰裕、渡辺太一の3名が加わり、さらに後期研修医の三田貴士君も当科を志望してくれましたので、現在総勢6名で診療を行っております。医師の充足により、糖尿病昏睡や低血糖昏睡、感染症等の急患は必ずお受けできるようになりました。先生方からのご一報を心よりお待ちいたしております。

もとより教育入院には力を入れておりましたが、医師の充足でよりきめ細かな対応が可能となっております。先生方が難しいとお感じになる症例がございましたら、ぜひご相談下さい。予定が決まらなると入院できない忙しいビジネスマンには、入院日と退院日を入院予約の段階で決めることもできますし、高血糖が続いても自分の状況を認識されない患者さんには、2泊3日短期動機付け入院も用意いたしました。基本的には改善後（通常は退院時に）必ず先生方の元にお返しする、双方向連携システムを採用いたしております。

糖尿病領域では、DPP4 阻害薬に SGLT2 阻害薬など新しい内服薬に加え、インスリンアナログ製剤に GLP1 作動薬など注射薬にも新薬が続々と登場しています。しかし、どんな薬を使っても改善しない患者さんは少なくありません。治療の基本が食事療法にあるからです。食事療法の基本が実践されないと、どんな魅力的な新薬もどんな強力な注射薬も効果は現れず、コントロールを改善することはできません。しかもその本質は低カロリーではないのです。私達専門職から「改善への最短ルート」を患者さんに伝授するアプローチ技術（本質はダイエット指導ですが）に加え、数週間の短期強化インスリン療法によって多くの患者さんが良好なコントロールを得て、再び内服療法で退院されており、患者さん、ご家族、そしてご紹介頂いた登録医の先生方にたいへん喜んで頂いております。私達は発見の遅れた多量の蛋白尿を呈する糖尿病腎症の患者さんの治療にも積極的に取り組んでおり、多数の患者さんを寛解に導いております（自分たちで述べるのも恐縮ですが、全国トップクラスの実績です）。重度肥満、重度の合併症、認知症などお困りの患者さんをぜひご紹介下さい。

今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。意欲に燃えた後期研修医も大募集中です。

TOPICS

連携センターからのお知らせ

平成29年2月より電子カルテに変わります

そのため患者情報を登録しカルテを作成してから予約受診票をFAXにて送信いたしますので、お手順をおかけしますが同封いたしました当院の所定の様式をご使用になり予約申し込みをお願いいたします。

なお、整形外科の受診につきましては今までどおり完全予約制をとっておりますので、2月からの受診については患者さんからの直接予約ではなく、医療機関からの申し込みをお願いいたします。

紹介状は当院ホームページからもダウンロードが可能です。「医療機関の方」のところから「紹介状等書類」を選んでご使用下さい。



認知症疾患医療センター『もの忘れ外来』を開設しました

当院は仙台市より認知症疾患センターの指定を受けました。今回は先生方に認知症疾患センターについてご紹介いたします。

認知症疾患医療センター長 総合診療科科長 ^{ふるかわ}古川 ^{かつとし}勝敏

東北医科薬科大学病院は、平成 28 (2016) 年 8 月に認知症疾患医療センターを開設いたしました。高齢者の増加に伴い我が国においては、認知症の患者数が急増しており、認知症患者をいかに治療し、ケアするかは医療の範囲を超えて、社会の問題に発展しつつあります。我々が働く仙台市宮城野区を含め、宮城県内においても認知症ならびにその疑い患者さんの治療、ケアに関わっている方は決して少なくないことでしょう。本院では、認知症患者さんの診断、治療、支援、ケアの充実ならびに向上に向けて、認知症疾患医療センターを立ち上げ、医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、言語聴覚士等の専門のスタッフが力を合わせて皆様のお手伝いをしております。ご本人、またはご家族が認知症を疑われたり、既に認知症の診断を受けている患者さんを再度きちんと診察してもらいたいといった場合、当院の認知症疾患医療センター「もの忘れ外来」にご相談ください。我々の認知症疾患医療センターの主な業務内容は以下のとおりです。どうかよろしく願いいたします。

1. 認知症の診断と治療

認知症専門医、精神科専門医、神経内科専門医が、丁寧な問診、診察、各種検査を実施し、各患者さんに病気の診断と最適な治療を行います。(要紹介状、要予約)

2. 医療福祉相談

専門の相談員、看護師、医師が電話や窓口でお話を伺い、必要な医療やサポートについての情報を提供いたします。

3. 地域連携

各種医療機関、地域包括支援センターと連絡を取り合い、地域での認知症診療、ケアの向上に努めて参ります。

..... もの忘れ外来の受診方法は次のとおりです

もの忘れ外来は予約制ですので必ず予約を取って来院下さい。お問い合わせはもの忘れ外来の直通番号がございますのでこちらをご利用下さい。

対象者：紹介状をお持ちの新患の方

生活状況を伺いますので必ずご家族の方と一緒に受診願います。

診察日：毎週月曜日・水曜日（祝日・年末年始除く）

申込方法：問診票と診療情報提供書（当院の様式）を FAX にて送信下さい。

内容を確認し、担当者より予約日を FAX にて送信いたします。

問診票も同封いたしましたのでぜひご紹介の際はご利用下さい。

お問い合わせ：平日 9 時から 17 時まで（祝日、年末年始除く）

電話 070-5093-3615（もの忘れ外来直通）

FAX 0120-25-9121（医療連携センターの FAX を使用）





外来診療担当一覧表

平成29年1月1日現在



東北医科薬科大学病院

電話 022-259-1221(代表)

電話 022-388-9593(医療連携センター直通)

FAX 0120-25-9121(医療連携センター直通 FAX)

階	診療科	月	火	水	木	金	
1F	消化器内科	診察室④ 再来	山本 毅	山本 毅	山本 毅	米地 真	山本 毅
		診察室⑤ 新患	支倉 翔太郎	目黒 敬義	目黒 敬義	福士 大介	米地 真
		診察室⑥ 新患	福士 大介	松村 吉史	近藤 史帆	大方 智樹	目黒 敬義
		診察室⑦ 新患	佐藤 倫紀	支倉 翔太郎	佐藤 倫紀	佐藤 格	高山 歳三
	外科	新患 診察室①	岩指 元	柴田 近	向田 和明	小川 仁	児山 香
		再来 診察室②	木村 俊一	向田 和明	岩指 元	児山 香	荒木 孝明
	乳癌外来・内分泌科	新患・再来	朴 英進	朴 英進	朴 英進	朴 英進	朴 英進
	呼吸器内科	診察室② 新患・再来	海老名 雅仁	阿部 達也	大野 勲	海老名 雅仁	小林 隆夫
		診察室① 再来		海老名 雅仁	小林 隆夫		阿部 達也
	高熱性肺炎 ウイルス感染症	新患・午後 診察室②		海老名 雅仁		海老名 雅仁	
	感染症内科	診察室①	関 / 福家			関 雅文	
	呼吸器外科	新患・再来 診察室④	田畑 / 石橋	田畑 俊治	田畑 / 菅原	田畑 俊治	田畑 俊治
	循環器内科	新患 診察室①	片平 美明	片平 美明	山家 実	山家 実	中野 / 山家
		診察室②	門脇 心平	門脇 心平	長谷川 薫	長谷川 薫	菊田 寿
		再来 診察室③	宮下 武彦	宮下 武彦	小丸 達也	中野 陽夫	関口 祐子
	心血管外科	診察室④	三浦 誠				三浦 誠 / 渡辺 卓
	血液・ リウマチ科	新患	武田 朋樹	武田 朋樹	小寺 隆雄	岡 友美子	岡 友美子
		再来 午前	小寺 隆雄	小寺 隆雄	竹下 美紀	武田 朋樹	小寺 隆雄
		午後	小寺 隆雄	小寺 隆雄			小寺 隆雄
		午前	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	竹下 美紀
		午後	岡 友美子	岡 友美子		岡 友美子	武田 朋樹
	整形外科	新患	千葉 晋平		峯岸 英絵		第1,第3 峯岸 / 千葉
			小澤 浩司				第2,第4 舘田 聡
		(専門外来)	(リウマチ)	(関節)	(骨粗鬆症)	(脊椎)	
			佐野 徳久	佐野 徳久	石塚 正人	小澤 浩司	
				石塚 正人		舘田 聡	
	糖尿病代謝 内科	診察室① 新患	丹治 泰裕	丹治 泰裕	赤井 裕輝	渡辺 太一	赤井 / 三田
		診察室② 再来	渡辺 太一	平井 敏	平井 敏	赤井 裕輝	平井 敏
		診察室③ 再来	善積 信介	善積 信介	丹治 泰裕	善積 信介	渡辺 太一
	小児科		森本 哲司	藤井 喜充	藤井 喜充	森本 哲司	藤井 喜充
禁煙外来	隔週	佐川 元保					
神経内科	新患	小林 理子	川口 典彦	石垣 あや	藤盛 寿一	小林 理子	
	再来	《応援医師》	小林 理子	藤盛 寿一	石垣 / 川口	《応援医師》	
リハビリ テーション科	新患	室谷 嘉一					
	再来	室谷 嘉一	内海 由也	室谷 嘉一		室谷 / 菊池	
	リハビリ前診療	室谷 嘉一	内海 由也		内海 由也	菊池 大一	
耳鼻咽喉科		太田 伸男	隔週 粟田口 / 東海林	太田 伸男	東海林 史	粟田口 敏一	
		粟田口 敏一	鈴木 貴博	粟田口 敏一	隔週 野口 / 角田	鈴木 貴博	
		東海林 史	野口 直哉	野口 直哉	高橋 由紀子	角田 梨紗子	
放射線科		小山 周樹	小山 周樹	小山 周樹	小山 周樹	《応援医師》	
歯科口腔 外科	新患・再来	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠	細谷 誠	
	口腔外科	篠原 文明	午後 宮下 仁	篠原 文明	篠原 文明	篠原 文明	
泌尿器科	新患・再来 午前	福崎 篤	《応援医師》	佐藤 信	《応援医師》	《応援医師》	
	午後		大黒 祥光				
腎臓	午前	再来 矢花 郁子	新患 岩倉 芳倫	再来 森 建文	新患 森 建文	再来 佐藤 真一	
	午後	再来 矢花 郁子	再来 岩倉 芳倫	再来 森 建文	再来 森 建文		
内分泌			新患 岩倉 芳倫		新患 森 建文	第1,第3 岩倉 芳倫	
		再来 岩倉 芳倫	再来 岩倉 / 目時		再来 森 建文	第2,第4 井樋 慶一	
皮膚科	診察室①	岡 昌宏	坂口 正展	岡 昌宏		坂口 正展	
眼科	再来	高橋 秀肇	西郷 陽子	西郷 陽子	高橋 秀肇	西郷 陽子	
	再来	西郷 陽子	多田 麻子	多田 麻子	多田 麻子	多田 麻子	
	新患・予約外		西郷 / 多田	西郷 / 多田		西郷 / 多田	
精神科	診察室①(午前)	鈴木 映二	吉村 淳	鈴木 映二	工藤 耕太郎	吉村 淳	
	* → 特殊外来 (午後)	* 鈴木 映二	吉村 淳	* 鈴木 映二	工藤 耕太郎	吉村 淳	
	診察室②(午前)		中川 誠秀	中川 誠秀	吉村 淳		
	(午後)		* 中川 誠秀	中川 誠秀	吉村 淳	工藤 耕太郎	
腫瘍内科		木場 崇剛	木場 崇剛	木場 崇剛	木場 / 三田地	木場 崇剛	
救急科		遠藤 / 住友・大原	外科 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	遠藤 / 住友・大原	
総合診療科		古川 勝敏	住友 / 人見	大原 貴裕	住友 / 人見	宮澤 イザベル	
産婦人科	初診	深谷 孝夫	渡部 洋	深谷 孝夫	中西 透	喜多川 亮	
	再診	喜多川 亮	中西 透	喜多川 亮	深谷 孝夫	深谷 孝夫	
	13時~15時 再診	喜多川 亮	喜多川 亮		中西 透		
もの忘れ外来	新患	第3,第5 午後 第4	リハ科担当医	第1,第3	精神科担当医		
				第2,第4	総合診療科担当医		

※都合により担当医師が変更している場合があります。